

# 科目 医学概論 (Outline of Medicine)

担当教員 横田 浩充、村野 武義、星野 忠、大川 龍之介

## 【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

この講義の目的は、臨床検査技師に必要な医学的知識を包括的に教授することにある。その結果、臨床検査の利用および検査値の見方を含め、臨床検査の意義を理解することを目指す。

<教育目標>

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

<具体的な項目>

専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)  
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)  
 根拠に基づいて科学的な推論を行い、結論を導く能力 (1)  
 常に問題を科学的に分析・解釈しようとし、そのための科学的探究を試みる態度 (1)

## 【2】 授業計画

No.	内 容
1	医学の歴史の変遷 (横田)
2	検査技術の歴史 (横田)
3	総論：各種疾患と臨床検査値 (脂質検査値) の関係 (村野)
4	臨床検査 (脂質検査値) による病態診断 (村野)
5	病態と臨床検査値1 R-CPC 1 (大川)
6	病態と臨床検査値2 R-CPC1 (大川)
7	臨床検査データ (酵素) の見方 1 (星野)
8	臨床検査データ (酵素) の見方 2 (星野)
9	生命倫理シンポジウム
10	生命倫理シンポジウム
11	病態と臨床検査値3 R-CPC 2 (大川)
12	病態と臨床検査値4 R-CPC 2 (大川)
13	脂質異常症の臨床検査値 1 (村野)
14	脂質異常症の臨床検査値 2 (村野)
15	臨床検査の展望・まとめ (横田)

## 【3】 到達目標

1. 適切な臨床検査値を報告するために必要な事項を説明できる
2. 各疾患と臨床検査とのかかわりを説明することができる
3. 医療人としての倫理観を持つことができる。

## 【4】 授業概要

臨床検査の利用について講義する  
 各疾患について説明し、疾患と臨床検査のかかわりについて解説する

## 【5】 準備学習 (予習・復習) および必要時間

配布された資料について予習1時間し、復習を2時間行うこと。課題としてのレポート作成は復習の成果となる。

## 【6】 教科書・参考書・参考資料

○参考書  
 最新臨床検査学講座 臨床化学検査学 (医歯薬出版)  
 最新臨床検査学講座 血液検査学 (医歯薬出版)  
 解剖学アトラス (越智淳三訳、文光堂)  
 免疫学イラストレイテッド (多田富雄監訳、南江堂)

## 【7】 評価方法およびフィードバック

受講態度(20%)、定期試験(80%)により評価する。なお、課題の範囲は講義プリントの内容とする。レポートは評価後、コメントを付記し返却指導する。

## 【8】 オフィスアワー

非常勤教員：授業の前後で対応する  
 横田：月、火、木の15時以降

**【9】 関連科目**

〔予め学んでおくとい科目〕

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅱ 臨床検査総論実習 臨床生化学実習

**【10】 その他**

- ・臨床検査技師国家試験受験資格を得ようとする者には必須科目である。
- ・講義は配布するプリントに沿って進める。
- ・必要に応じて上記参考書などで自主学習する必要がある。